

埋立ごみにプラスチック・ゴム・家電製品を入れないで！

プラスチック・ゴム・革製品は可燃ごみ

令和6年4月から、高温で連続運転することでダイオキシン類が発生しにくい福山ローズエネルギーセンターで可燃ごみを処理しています。これに伴い、埋立ごみで出していたプラスチック製品・ゴム製品・革製品は、可燃ごみに分別変更しています。



可燃ごみに分別変更になったもの

家電や電池は資源ごみ

現在でも多くのプラスチック製品や家電製品などが埋立ごみに出されています。特にモバイルバッテリーなどの電池が付いたままのものや、中身を使い切っていないスプレー缶は火災の原因となるためとても危険です。



適正に分別されず、実際に埋立ごみに出されたもの

正しい分別を

良く分からぬものは「埋立ごみへ」といった認識は改め、埋立センターを大切に使うために、正しく分別しましょう。

一部例外がありますので、詳しくは分別ガイドをご確認ください。

※分別間違いが多いごみ袋は、黄色いシールを貼って回収しないことがあります。

埋立ごみ

- ▶ 傘
- ▶ 可燃ごみに出せないプラスチック
- ▶ 陶器・ガラス・灰など



クイズで確認！ 分別○×クイズ

正しく分別できるか、楽しく確認してみましょう。

Q1 グローブや革靴は「埋立ごみ」である。



× 革製品は、可燃ごみです。

Q2 プラスチックのスプーンや長靴は、「容器包装プラスチックごみ」である。



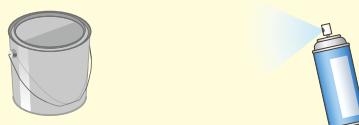
× プラマークのないプラスチック製品は、可燃ごみです。埋立ごみではありません。

Q3 壊れた家電や電動のおもちゃなどは「資源ごみ(小型家電)」である。



○ 火災の原因となるため、電池やモバイルバッテリーは、セロハンテープを巻いて資源ごみ(電池)に捨ててください。

Q4 中身の入ったスプレー缶、塗料缶は中身が入ったまま「埋立ごみ」に捨てる。



× スプレー缶・塗料缶は、中身を使い切って資源ごみ(びん・缶)です。使い切れない場合の中身は、新聞紙やボロ布に染み込ませ、屋外で良く乾かして可燃ごみに捨ててください。
※ガス抜きは危険なので屋外で行い、「シュー」と音が出なくなるまで中身を出しましょう。

問環境衛生課(☎ 43-9222)

